

おはようございます。

今日、学期の区切りとして、一学期の終業式を迎えました。

皆さんと共にこの一学期を振り返りたいと思います。

まず初めに、6月18日に発生した大阪北部地震、そして、「西日本豪雨」と呼ばれる集中豪雨により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害にあわれた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

皆さん自身もそうですが、ご家族やご親戚の方々の中に、被害にあわれた方がおられるかもしれません。被害にあわれた全ての方々に対して、一刻も早い復興、回復を願っております。

学校として、当日本校は代休でしたが、普段通り授業が行われていた場合であれば、どのように身を守り避難すべきか、的確な判断と行動ができるよう、今後の避難訓練も含め、今回の経験を生かして取り組んでいかなければならないと思います。皆さん一人ひとりが現実の問題として受けとめ、考え、行動できるようにしていきましょう。

さて、今日は、ある府立高校が5年間にわたって実施した学習調査結果をもとに、皆さんの今後の進級・卒業・進路につながるお話をしたいと思います。

その調査結果によると、2学期の中間考査の結果と、大学入試等、希望する進路の実現と密接な関係があることが確認できた、ということです。

要するに、2学期の中間考査の成績が伸びている、あるいは高い成績を維持している人は、大学入試等の結果も良い傾向がある、ということです。

私は、この話を聞いて「なるほどな」と思いました。

2学期の中間考査の結果が伸びると、高さを維持できていると、入試の結果も良くなるのはなぜだと思いますか？

ポイントは、学習習慣の確立できているか、維持できるか、ということです。

今日から2学期の中間考査までに何があるか考えてみてください。

皆さんに平等にあるのは、夏休みですね。

学習習慣の確保・維持に大きな影響を及ぼす「夏休みの過ごし方」が極めて重要になってきます。

夏休みをいかに過ごすか活用できるか、要するに学習習慣を確保・維持できるかによって、2学期の中間考査で良い結果を出すことができるし、逆に、夏休みを活用できなかつたり、せっかく身につけた学習習慣が維持できなかつたりすると、悪い結果

になってしまうということです。そして、進級・卒業・進路に大きな影響を与える、ということです。

中でも、3年生にとっては、この夏休みは進路実現にとって極めて重要です。

この夏休みという最大のチャンスを生かして、学習習慣を確立又は維持できないと重大な問題に繋がります。

また、学習習慣といえども、効果を高めるために大切な法則があります。それは「学習の量」×「学習の質」です。

より多くの時間を確保するためには何が必要か？

それは自分自身の甘さ、弱い心に打ち克つことです。自分自身に甘えてしまうと必ず後悔します。過ぎ去った時間を取り戻すことはできません。

学習の質を高めるにはどうすれば良いか？

自分で工夫することも大切ですが、身近にいる経験者に教えてもらえばいいのです。身近にいる経験者とは、先生方に教えてもらいなさい。講習に参加して学習習慣を維持しながら大切な要素をいっぱい吸収すればいいのです。

この後、一学期の成績をもらいます。一学期の評価に直面します。良くも悪くもあなた方の現実です。

良かった人は、油断してはなりません。更に高める努力を続けてください。

悪かった人、「三度目の正直」という言葉があるように、本年度三回目の二学期の中間考査で誰もが驚くぐらいの成績を出せるよう、最大限の努力をしてください。

コツコツと努力を続けていたのに良い結果を出せなかった人、成果が際立って出てくるには時間がかかるものです。あきらめずに努力を続けてください。学習方法等、学習の質を高める努力もしてください。

2学期の中間考査でどれだけばん回できるかが、進級・卒業にも多大な影響を及ぼします。

皆さんが、この夏休みをどのように過ごし、学習の量と質の両方を高める努力ができたかは、皆さんのまなざしや表情、態度となって現れるものと思います。

今日から約1ヶ月後、更に成長した皆さんと出会えることを楽しみにしています。

連日猛暑が続きます。くれぐれも熱中症には気をつけてください。

皆さんの頑張り、健康と安全を心から願って終業式の挨拶とします。